Richell

〈取扱説明書〉

歩行補助車
アルキュート FC

このたびは、リッチェル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため
現物とは多少異なることがあります。本品を他のお客様にお譲りになるときは、
必ず本書も併せてお渡しください。

安全基準適合品
歩行補助車

目　次

●ご使用の前に …… P1
●特長 …… P1
●各部の名称…… P1
●使用上の注意 …… P2～P3
●使用方法 …… P3～P6
1.駐車用ロックの使い方 …… P3
2.本体の開き方 …… P4
3.バッグの取付け方 …… P4
4.本体の折りたたみ方 …… P5
5.ブレーキのかけ方 …… P5
6.ブレーキの調節方法 …… P5
7.キャスターの使い方 …… P6
8.ハンドル高さの調節方法…… P6
9.杖や傘の固定方法 …… P6
●お手入れ方法 …… P7
●点検について …… P7
●保管について …… P7
●仕様 …… P7
●保証書 …… P8
●SGマークの被害者救済制度…… P8

ご使用の前に

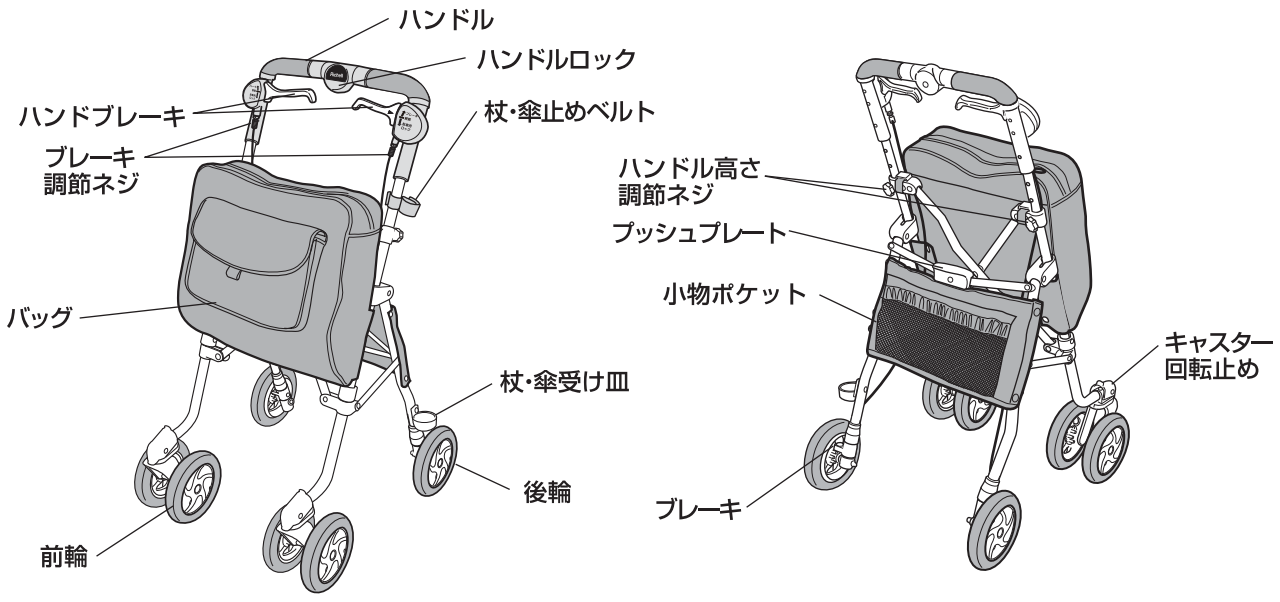
⚠警告

- **この製品は、主として高齢者の方が外出する際に歩行や運搬に用いる製品で、自立歩行ができない方の使用には適しません。**
- **この製品は、左右のブレーキが独立しているため、左右の握力の差が大きい方の使用には適しません。**
- 使用前に、各部の破損、緩み、磨耗などの異常がないか確認してください。異常を発見した場合は使用を中止し、当社お客様相談室までご連絡ください。そのまま使用しますと重大な事故につながるおそれがあります。

特　長

- コンパクトに折りたたむことができます。
- 買物や散歩に便利なバッグと小物ポケットが付いています。
- 使用される方に合わせてハンドルの高さが3段階（82～92.5cm）に調節できます。

各部の名称



使用上の注意

○記号の説明

この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて、次のマークで表示しています。各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

⚠警告 …取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

⚠注意 …取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

重 要 …取扱いを誤った場合、製品の故障・損傷・早期寿命などを招くおそれのあるもの。

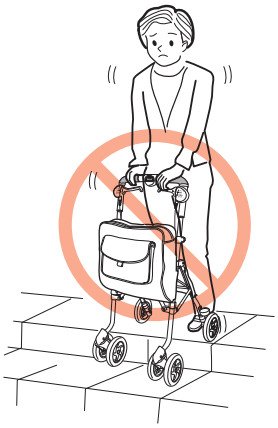
…してはならない禁止事項。

⚠警告　必ずお読みください。取扱いを誤ると重大な事故につながりますので必ずお守りください。

- 用途以外には使用しないでください。
- 本品の分解・改造はしないでください。
- バッグ内に乳幼児を乗せないでください。
- 幼児や子供が遊ばないよう注意してください。転倒するおそれがあります。

- 踏切を渡るときは、できるだけ線路に対し直角に進んでください。斜めに渡ると車輪を取られたり、線路の溝に車輪がはさまるおそれがあります。

- 階段、エスカレーターでは使用しないでください。また、段差や溝のある場所での使用は十分注意してください。



- ハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけたりしないでください。

- ハンドルロックが確実にロックされ、プッシュプレートが下がっていることを確認してから使用してください。ロックが不十分だと走行中に折りたたまれるおそれがあります。
- 雨や雪の日、凍結時など滑りやすい所では使用しないでください。転倒するおそれがあります。
- 砂利道・悪路などでの使用は十分注意してください。
- 歩いて使用してください。走ると転倒や事故につながるおそれがあります。
- 使用前は各部を点検し、左右ブレーキ、および、駐車用ロックがかかることを十分確認して使用してください。
- 組立て、および、調節は確実に行ってください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ、および、夜間での使用は十分注意してください。
- タイヤ・ブレーキの磨耗、および、ブレーキの作動不良がないかを定期的に点検し、必要に応じて交換してください。
- 火気や熱源の近くに放置したり、炎天下の車内やトランクに放置したりしないでください。本品が高温となり、ヤケドしたり、変形・変質してケガをしたりするおそれがあります。

⚠注意

- 折りたたみ開閉時には指をはさまないよう十分に注意してください。
- 最大使用者体重80kgをお守りください。
- 本体から離れるときは必ず駐車用ロックをかけてください。車体が勝手に動き出すおそれがあります。
- ハンドブレーキを使用するときは、左右同時にかけてください。キャスター回転状態（P.6参照）で片方だけブレーキをかけると回転しやすく、転倒するおそれがあります。
- バッグには8kg以上の荷物を入れないでください。
- 小物ポケットには1kg以上の荷物を入れないでください。
- ハンドルなどに荷物を吊り下げないでください。転倒するおそれがあります。
- 雨や風の強いときは使用しないでください。
- 傘を持ちながら走行しないでください。

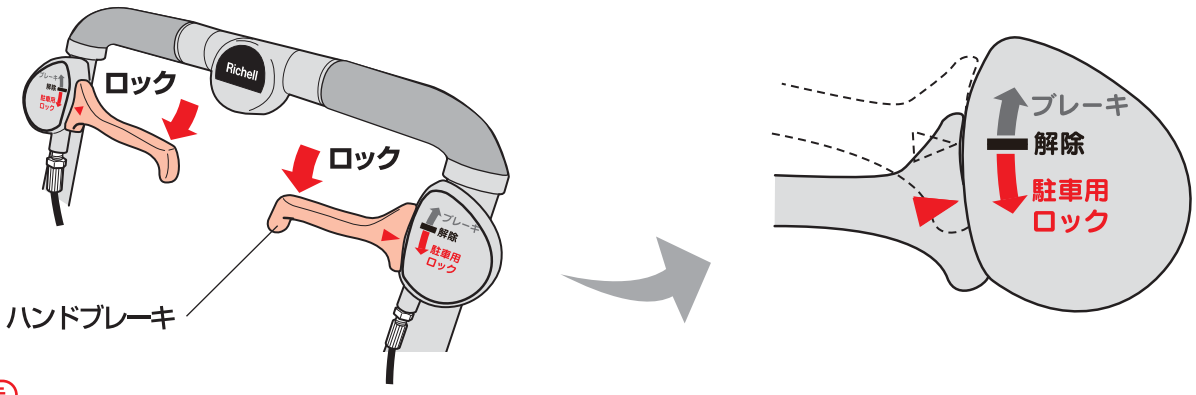
重 要

- 改造、また部品の代用は絶対にしないでください。故障の原因となります。
- 駐車用ロックをかけたまま押さないでください。故障の原因となります。
- タワシやみがき粉・研磨剤入りスポンジなどは使用しないでください。製品にキズがつくおそれがあります。
- 直射日光が当る場所に長時間放置しないでください。色あせの原因となります。
- 雨ざらしにしないでください。サビによる故障の原因となります。
- 火の近くや高温になる場所での放置は避けてください。変形や故障の原因となります。
- バッグを洗濯機で洗わないでください。

使用方法

1. 駐車用ロックの使い方

ハンドブレーキを矢印方向に押し下げると駐車用ロックがかかります。



⚠注意

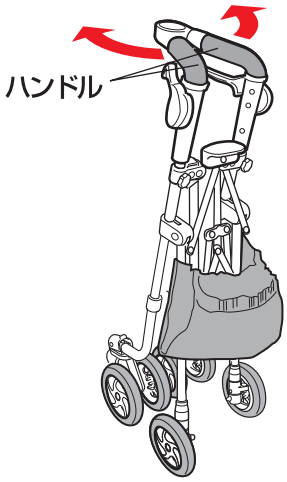
- 本体から離れるときは必ず左右の駐車用ロックをかけ、両後輪が回転しないことを確認してください。車体が勝手に動き出すおそれがあります。

重 要

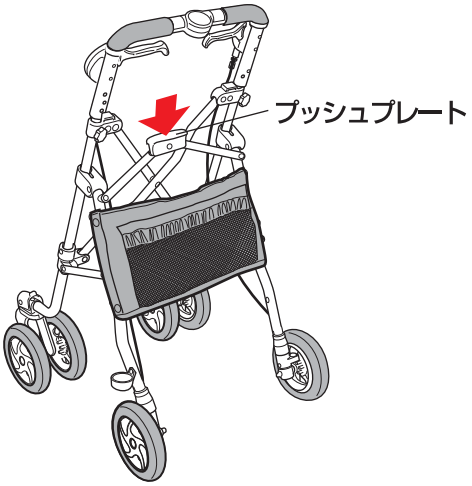
- 駐車用ロックをかけたまま押さないでください。故障の原因となります。

2. 本体の開き方　開閉は駐車用ロックをかけて行ってください。

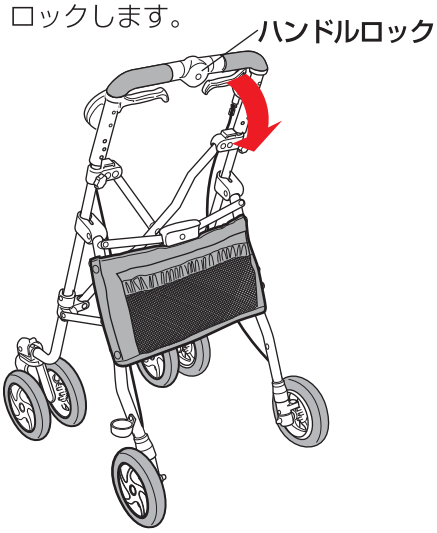
①両手でハンドルを持ち、左右に本体を開きます。



②プッシュプレートを押し下げて本体を完全に開きます。

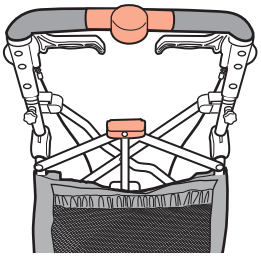


③ハンドルロックを回してハンドルをロックします。

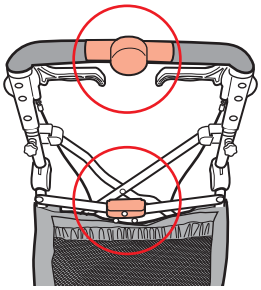


⚠警告

- ●開閉は駐車用ロックをかけて行ってください。
- ●ハンドルロックが確実にロックされ、プッシュプレートが下がっていることを確認してから、使用してください。ロックが不十分だと走行中に折りたたまれるおそれがあります。



ロック解除状態



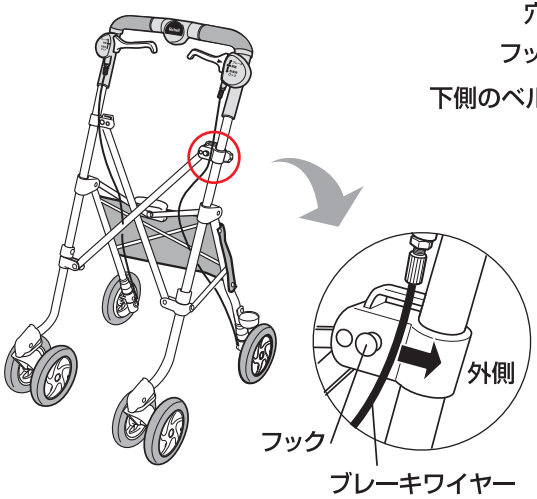
ロック状態

⚠注意

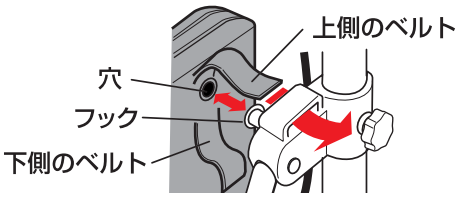
- ●折りたたみ開閉時には指をはさまないよう十分に注意してください。

3. バッグの取付け方

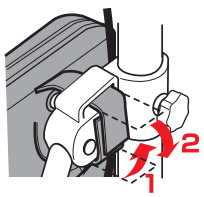
①ブレーキワイヤーの位置をフックより外側になるようにします。



②バッグの上部を取り付けます。

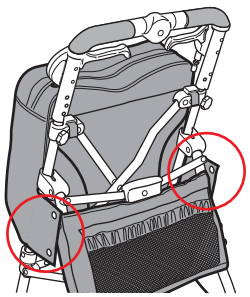


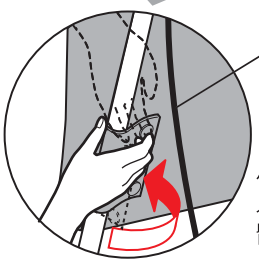
上側のベルトを通し、バッグ上部の穴をフックにかけます。



下側・上側の順にベルトを巻き付けます。

③バッグの下部を取り付けます。





バッグの内側に手を入れると、ボタンが留めやすくなります。

⚠注意

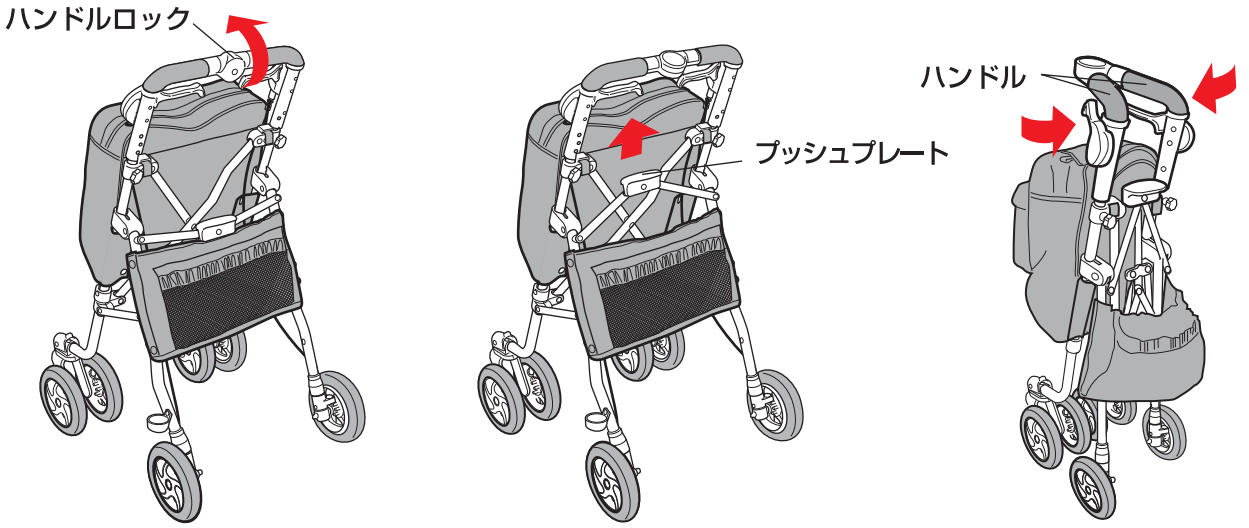
- ●バッグの取付け時にブレーキワイヤーも一緒に留めないよう注意してください。

4. 本体の折りたたみ方

①ハンドルロックを回しハンドルのロックを解除します。

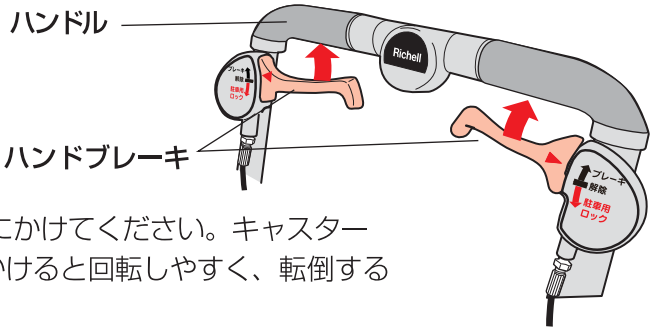
②プッシュプレートを引き上げて本体を折たたみます。

③ハンドルの左右を持って本体を最後まで閉じます。



5. ブレーキのかけ方

ハンドルを持ちながらハンドブレーキを強く握るとブレーキがかかります。



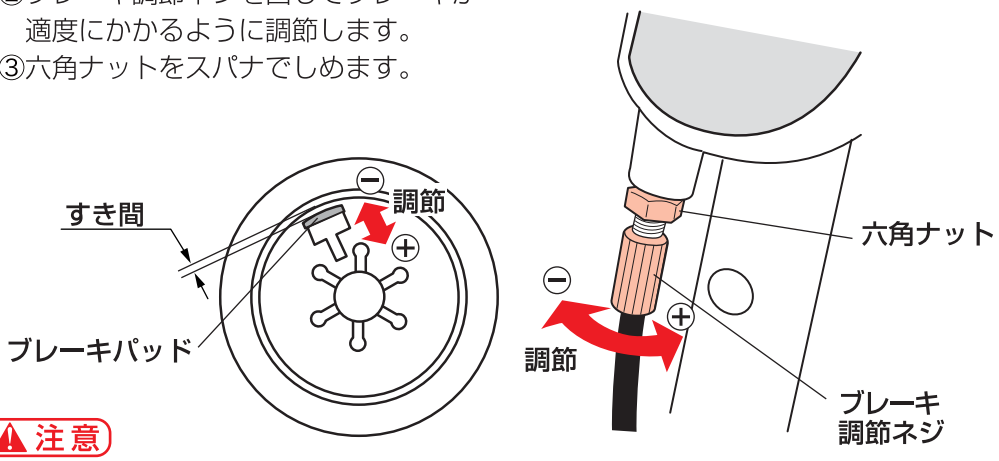
⚠注意

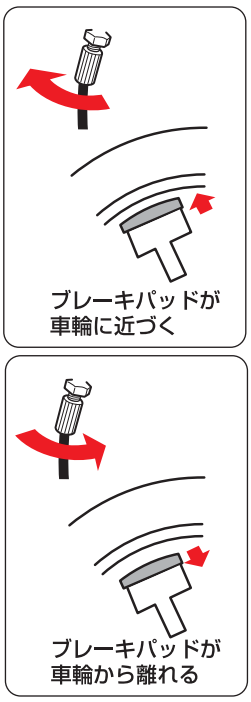
- ●ハンドブレーキを使用するときは、左右同時にかけてください。キャスター回転状態（P.6参照）で片方だけブレーキをかけると回転しやすく、転倒するおそれがあります。
- ●使用前にはブレーキが確実にかかることを、十分に確認してください。使用中にブレーキがかからないと転倒するおそれがあります。

6. ブレーキの調節方法

調節はハンドブレーキを「解除」の位置にして行ってください。

①六角ナットをスパナで緩めます。
②ブレーキ調節ネジを回してブレーキが適度にかかるように調節します。
③六角ナットをスパナでしめます。





⚠注意

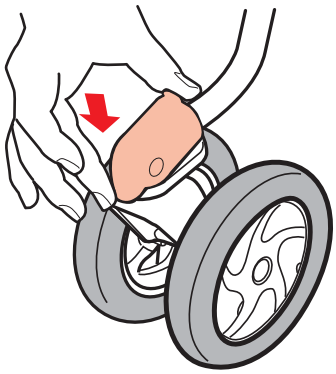
- ●両側のブレーキが均等にかかるように調節してください。片効きの場合、不安定になり転倒するおそれがあります。
- ●ブレーキ調節後、駐車用ロックが正常にかかることを確認の上、使用してください。
- ●ブレーキ調節後、駐車用ロックがかからない場合、ブレーキパッドの摩耗が考えられます。

7. キャスターの使い方

路面状況に合わせて、キャスター回転止めによりキャスターの回転角度が切り替えできます。

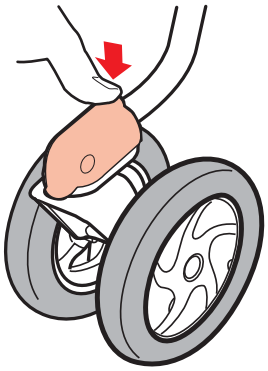
①傾斜や凹凸のついた路面を走行するときは、前輪左右のキャスター回転止めをロックしてください。直進安定性がよくなります。

ロック



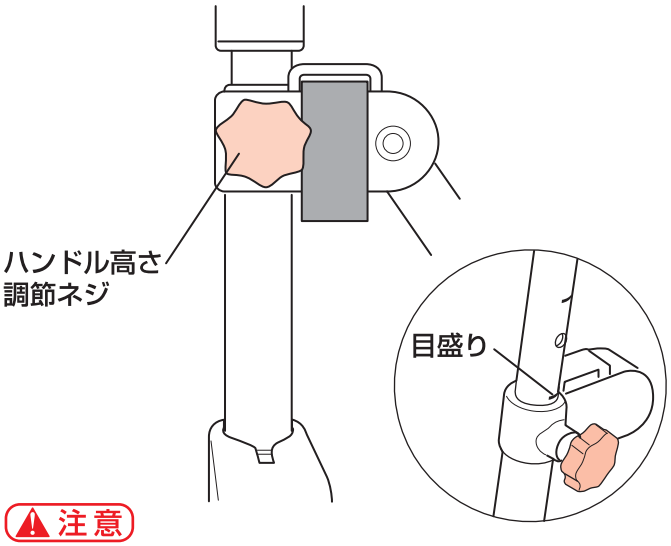
②平坦な路面を走行するときは、前輪左右のキャスター回転止めを解除してください。車輪の方向転換がしやすくなります。

解除



8. ハンドル高さの調節方法

左右のハンドル高さ調節ネジを外してハンドルを上下に動かし、体に合う高さの位置に目盛りを合わせ、ハンドル高さ調節ネジをしめハンドルを固定してください。
ハンドルの高さは3段階の中から選べます。



⚠注意

- ●使用前にハンドル高さ調節ネジがしっかりしまっていることを確認の上、使用してください。
- ●ハンドル高さの調節後は、必ずブレーキや駐車用ロックがかかることを確認してください。

9. 杖や傘の固定方法

杖や傘を本体に固定するときは、杖や傘の先端を杖・傘受け皿に入れて杖・傘止めベルトで固定してください。

⚠注意

- ●傘を持ちながら走行しないでください。

お手入れ方法

汚れや水気は、スポンジまたは柔らかい布に中性洗剤を含ませてすみやかにふき取ってください。
きしみ音の発生や作動が鈍いときは、その箇所に少量のシリコン系潤滑油を注油してください。

重 要

- タワシやみがき粉・研磨剤入りスポンジなどは使用しないでください。製品にキズがつくおそれがあります。
- バッグ、小物ポケットを洗濯機で洗わないでください。

点検について

ネジ･ジョイント類の緩みや部品の破損、タイヤ･ブレーキの磨耗、および、ブレーキの作動不良がないかを定期的に点検してください。

⚠警告

- 使用前に各部の破損、緩み、磨耗などの異常がないか、確認してください。異常を発見した場合は使用を中止し、当社お客様相談室までご連絡ください。そのまま使用しますと重大な事故につながるおそれがあります。

重 要

- 改造、または、部品の代用は絶対にしないでください。故障の原因となります。

保管について

直射日光を避け、湿気が少なく雨やホコリのかからない場所に保管してください。

重 要

- 直射日光が当たる場所に長時間放置しないでください。色あせの原因となります。
- 雨ざらしにしないでください。サビによる故障の原因となります。
- 火の近くや高温になる場所での放置は避けてください。変形や故障の原因となります。

仕　様

品　　名	アルキュート　FC			
サ イ ズ	幅45.5×奥行52.5×高さ82～92.5[3段階]（cm）	材質	フレームパイプ	アルミ
折りたたみ時サイズ	幅23.5×奥行34×高さ89.5～100[3段階]（cm）		車　輪	ポリプロピレン･EVA樹脂
ハンドル高さ調節サイズ	82・87.5・92.5（cm）		バッグ・表生地	ナイロン
重　　量	3.5 kg		ハンドル	合成ゴム
積載重量	バッグ　：8 kg	小物ポケット：1 kg		
容　　量	バッグ容量：10 ℓ	―――		
最大使用者体重	80 kg			

SGマークの被害者救済制度

SGマークの被害者救済制度

SGマークが表示された歩行補助車を、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、人身の損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償します。

ただしお買い上げ日より3年以内です。

賠償についてのご注意

- 認定した歩行補助車そのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも障害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について

損害を被った消費者が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する所に届けてください。

製品安全協会　東京都中央区日本橋本町1-5-9　共同ビル7F
TEL (03)5255-3631

事故賠償に必要な項目

① 事故の原因となった歩行補助車の現品
　イ）製品の名称、SGマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月日
② 事故発生の状況
　イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③ 被害の状況
　イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所
　ロ）被害の状況と程度（医師の証明書）

株式会社 リッチェル
富山市水橋桜木136 〒939-0592　お客様相談室/TEL(076)478-2957
（受付時間：土日、祝祭日を除く平日 9:00～17:00）
http://www.richell.co.jp/
MADE IN CHINA

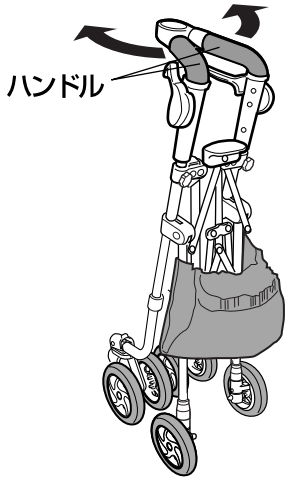
L 0807

お願い（ご使用前に必ずお読みください）

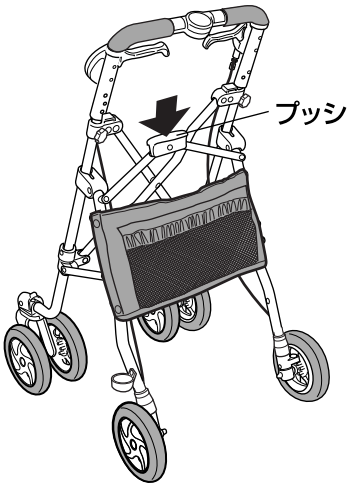
開梱時、本体にバッグを下記の手順で取り付けてからご使用ください。

1. 本体の開き方

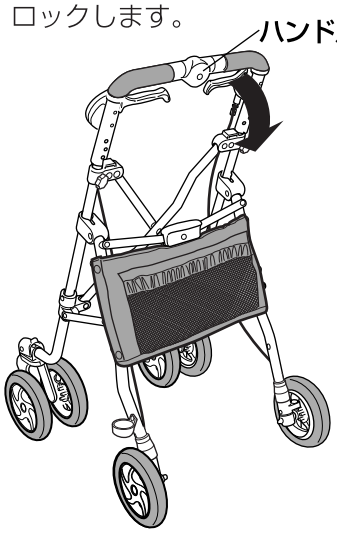
①両手でハンドルを持ち、左右に本体を開きます。



②プッシュプレートを押し下げて本体を完全に開きます。

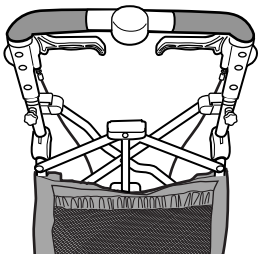


③ハンドルロックを回してハンドルをロックします。

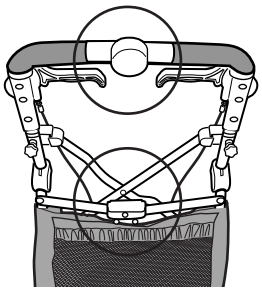


⚠注意

●折りたたみ開閉時には指をはさまないよう十分に注意してください。



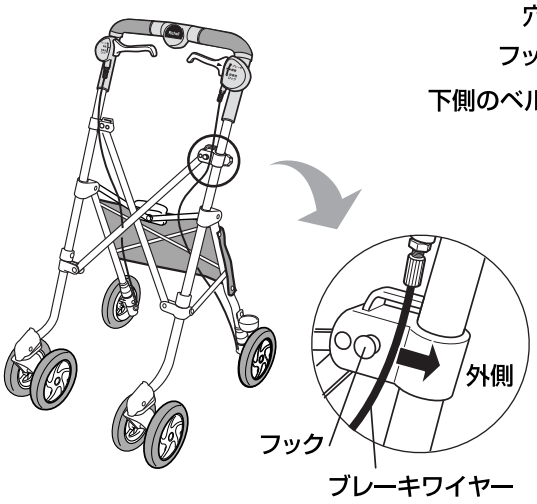
ロック解除状態



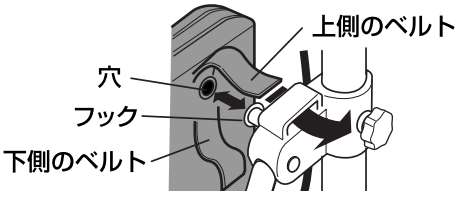
ロック状態

2. バッグの取付け方

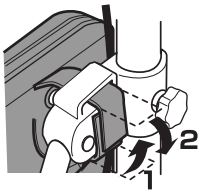
①ブレーキワイヤーの位置をフックより外側になるようにします。



②バッグの上部を取り付けます。



上側のベルトを通し、バッグ上部の穴をフックにかけます。



下側・上側の順にベルトを巻き付けます。

③バッグの下部を取り付けます。

バッグの内側に手を入れると、ボタンが留めやすくなります。

⚠注意

●バッグの取付け時にブレーキワイヤーも一緒に留めないよう注意してください。